

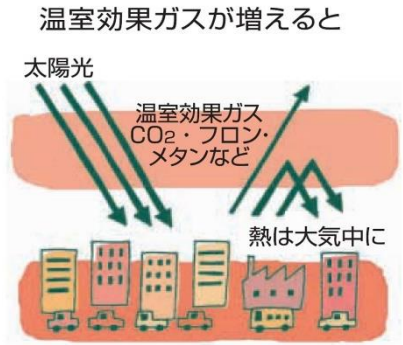
丹波篠山市地球温暖化対策実行計画【概要版】

二酸化炭素排出量実質ゼロ（ゼロカーボン）の実現に向けた地域づくり

計画策定の背景

地球温暖化が進行しています。

- 大気に含まれる二酸化炭素やメタンなどは、太陽からの熱の一部を吸収し、再び放出する性質をもち、温室効果ガスと呼ばれています。これら温室効果ガスにより、地球は人の生活に適した気温が保たれています。
- 化石燃料の燃焼による温室効果ガスの排出量増加や森林伐採などによる吸収源の減少により温室効果ガス濃度が増加し、世界中で平均気温が上昇しています。



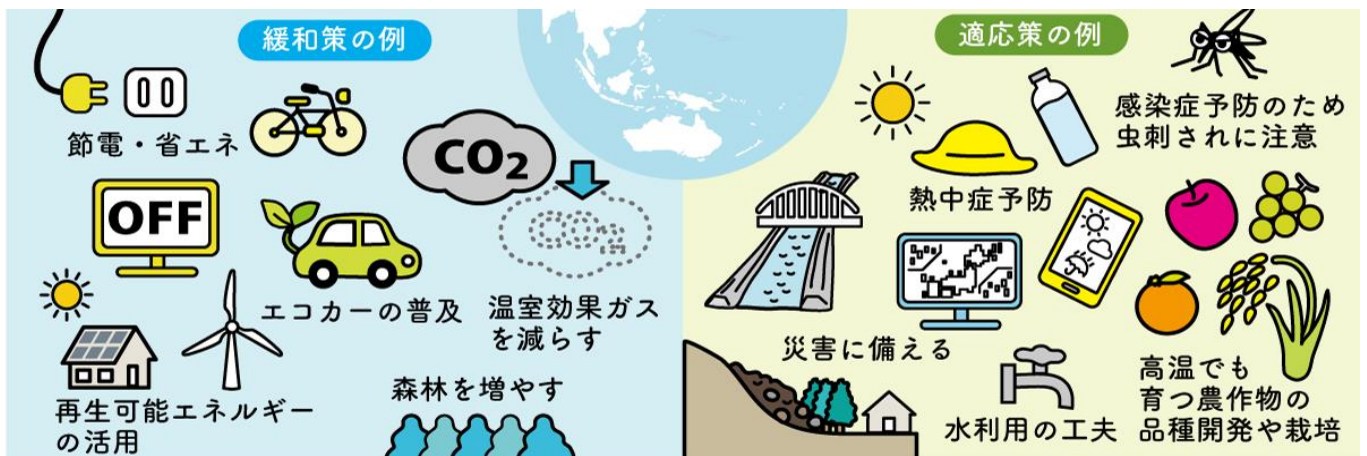
地球温暖化は私たちの生活に深刻な影響を及ぼします。

- このまま温室効果ガスを出し続け、平均気温が上昇すると、豪雨や干ばつなどの異常気象が増加し、地球の気候が変わる(気候変動)おそれがあります。
- 気候変動は、農林水産業、水資源、自然生態系、自然災害、健康、産業・経済など、私たちの生活に深刻な影響を及ぼすと考えられています。



地球温暖化の防止に向けて、積極的な行動をとる必要があります。

- このような、気候変動の危機的な状況を乗り越えるため、市民、事業者、行政など、地域の様々な主体が危機感を共有し、温室効果ガス排出量を削減して気候変動を緩和する(緩和策)と共に、生態系や社会システムを調整し、気候変動に適応した社会を構築する(適応策)ことが重要です。



計画の目的

本計画は、2022年1月に表明した、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロとする「丹波篠山市気候非常事態宣言」の実現に向けて、市民、事業者、行政等が連携し、温室効果ガス排出量の削減等と気候変動に対する適応を推進することを目的とします。

計画の期間

本計画は、2024年度を初年度とし、国及び県の計画期間を踏まえ、2030年度を目標年度とします。なお、社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

計画の目標

積極的な温室効果ガス排出量削減と森林吸収量の確保により、2030年度の温室効果ガス実質排出量は2013年度比で48%削減することを目標とします。また、さらなる50%削減の高みに向けて、取組を続けるものとします。

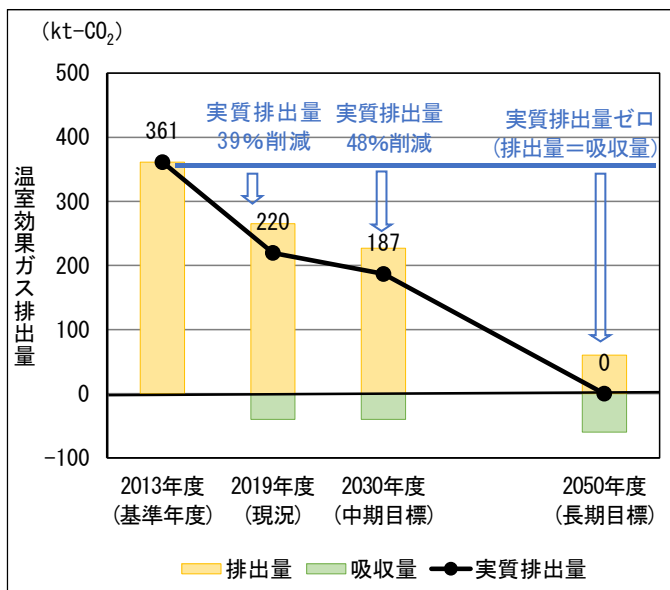


温室効果ガス排出量削減目標	
長期目標 (2050年度)	二酸化炭素排出量実質ゼロ実現
中期目標 (2030年度)	2030年度の二酸化炭素実質排出量を2013年度排出量比で48%削減

再生可能エネルギー導入目標	
中期目標 (2030年度)	2030年度の太陽光発電設備の発電量を再エネ比率16%に増加

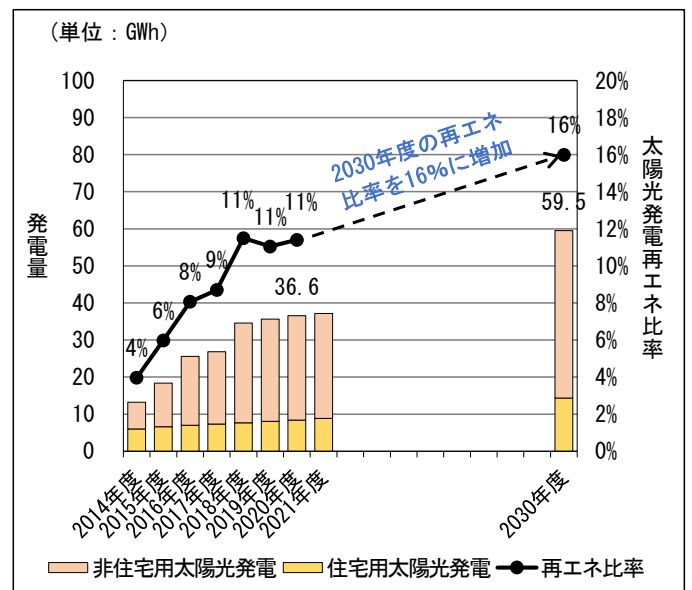
再生可能エネルギー導入目標は、太陽光発電の省エネ比率を16%に増加することを目標とします。

温室効果ガス排出量削減目標



実質排出量：温室効果ガス排出量から吸収量を差し引いた排出量

再生可能エネルギー導入目標



再エネ比率：市内年間消費電力量に対する再エネ発電量の割合

取組方針及び重点的な取組

●目標達成に向けた取組方針と重点的な取組は以下のとおりとします。取組内容は、今後の革新的な技術開発等により適宜見直しを行い、充実させることで脱炭素化を加速させていきます。

取組方針	重点的な取組及び取組内容	取組効果	
		緩和策	適応策
① エネルギーをつくり、かしく使うまちを目指します。	<p>●再生可能エネルギーの最大利用</p> <p>①住宅・建築物等への再エネ・畜エネ設備の導入促進</p> <p>②バイオマスの有効活用の推進</p> <p>●エネルギー消費の削減</p> <p>①省エネ設備の導入促進</p> <p>②次世代自動車の普及促進</p> <p>③省エネ家電の普及促進</p> <p>④省エネ性能に優れた住宅・建築物の導入促進</p> 	○	○
② ごみを減らし、資源としてうまく循環させるまちを目指します。	<p>●プラスチックごみの削減・資源循環</p> <p>①マイバッグ・マイボトルの推進</p> <p>②プラスチックごみ資源回収の推進</p> <p>③プラスチックごみ削減に向けた情報提供</p> <p>●ごみの削減・資源循環</p> <p>①食品ロスの削減</p> <p>②3R+Renewableの推進</p> 	○	○
③ 豊かな自然環境のもとで人と生きものが共生するまちを目指します。	<p>●生きものの生息環境の保全</p> <p>①ふるさとの川・水路づくりの推進</p> <p>②環境保全型農業の推進</p> <p>●野生生物の保護・管理</p> <p>①獣害対策、外来生物対策の推進</p> <p>②森林整備の推進</p> 	○	○
④ 災害による被害を軽減するまちを目指します。	<p>●気候変動による災害に備えたまちづくり</p> <p>①防災マップの見直しと砂防施設等の整備促進</p> <p>②避難所の資機材備蓄・充実</p> <p>③住宅・建築物等への再エネ・畜エネ設備の導入促進(再掲)</p> <p>●グリーンインフラの有効活用</p> <p>①ふるさとの川・水路づくりの推進(再掲)</p> <p>②田んぼダムなどによる雨水貯留機能の強化</p> <p>③森林整備の推進(再掲)</p> 	○	○
⑤ みんなが気候変動を正しく理解し、積極的に行動するまちを目指します。	<p>●気候変動対策に取り組む人の育成</p> <p>①省エネ行動の普及啓発</p> <p>②環境に配慮した消費行動の普及</p> <p>③気候変動影響に関する情報収集・情報発信</p> <p>●気候変動対策に取り組む関係づくり</p> <p>①情報発信・交流の場の設置</p> <p>②気候変動に適応した地域づくりの推進</p> 	○	○



みんなの行動でめざす 2050年の丹波篠山の姿



各主体の基本的な取組

●本計画では、市民・事業者等・行政、各主体の基本的な取組を以下のとおりとし、各主体の取組を促進することで、市全体の二酸化炭素排出量の削減を図ります。

市民	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的に脱炭素地域づくりに向けたライフスタイルの転換に取り組みます。 ●脱炭素地域づくりや循環型社会への移行に向けた取組に積極的に参加します。
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ●適切で効果的・効率的な地球温暖化対策を自主的かつ積極的に実施します。 ●各種団体等と連携した温室効果ガス排出量削減や吸収源対策等に取り組みます。 ●環境負荷の低減に寄与する製品・サービスの提供を推進します。
行政	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の自然的社会的条件を踏まえて、脱炭素地域づくりや循環型社会の形成を推進します。 ●市民や事業者等への情報提供等により活動の促進を図るとともに、気候変動についての情報収集や危機感の共有を推進し、気候変動への適応を促進します。 ●「地球温暖化対策実行計画(第5次)」に基づき、排出量削減を率先して実行します。

推進体制及び進行管理

- 本計画の推進体制は、環境基本計画と統合して構築します。また、「丹波篠山環境みらいパートナー事業者登録制度」を通して、協働の場の構築・推進を図る方針とします。
- 毎年度、「PDCAサイクル」(Plan:計画、Do:実行、Check:点検・評価、Action:改善)による計画の進捗管理を行います。